



‘栄研’

News Release

平成 28 年 2 月 22 日

各 位

会社名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 和田 守史
コード番号 4549 東証1部

JICA民間技術普及促進事業にTB-LAMP法を使用した 「日本の技術による新たな結核診断アルゴリズム普及促進事業」が採択

栄研化学株式会社(本社：東京都台東区、以下 栄研化学)が、ニプロ株式会社(本社：大阪市北区、代表取締役社長：佐野 嘉彦、以下 ニプロ)と共同で提案しておりました、フィリピン共和国(以下 フィリピン)における「日本の技術による新たな結核診断アルゴリズム普及促進事業」が、独立行政法人国際協力機構(以下 JICA)が公募した「第5回 開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業*1」に採択されました。今後はJICAおよび協力機関である公益財団法人結核予防会と連携を図りながら、本事業を進めてまいります。

今回採択されました事業では、低コストで簡易・迅速に高感度で結核菌を目視検出する栄研化学の TB-LAMP法*2をクリニック等の一次医療施設に、また、多数の薬剤耐性関連遺伝子を一度に検出するニプロのLPA法*3を二次医療施設である熱帯医学研究所にパッケージとして導入します。まずTB-LAMP法を用いて結核患者を早期に発見し、その後、LPA法で詳細な薬剤耐性遺伝子情報を得ることは、迅速で適切な結核治療につながるため有効な結核対策であると考えられます。そこで、複数の一次医療施設および熱帯医学研究所の協力のもと評価試験を実施し、本パッケージの有効性を実証してまいります。また、その結果を保健省関係者や医師などにセミナー等で周知させると共に、両技術を用いた新しい結核検査アルゴリズムを考案し、そのガイドライン化を進めてまいります。

フィリピンは、結核患者数が多く、世界の結核患者の8割を占める結核高負担22カ国の一つです。栄研化学は、本事業により、同国の結核撲滅に貢献していきたいと考えております。

以上

【用語解説】

*1 開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業

本制度は、JICAが2013年度に開始した公募型事業であり、開発途上国の政府関係者を主な対象とした日本での研修や現地でのセミナー、実証活動等を通じて、日本の民間企業等が持つ優れた製品、技術、システム等への理解を促し、開発課題解決への活用可能性の検討を行うものです。第5回となる今回は、当社を含め11件の案件が採択されております。

詳細：http://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/kaihatsu/index.html

*2 TB-LAMP 法

栄研化学が独自に開発した遺伝子増幅技術 LAMP (Loop-Mediated Isothermal Amplification) 法を使用した高感度で簡易な結核菌群検出検査。本法による検査時間は、生の喀痰検体からの核酸抽出に約 10 分、増幅反応が 40 分であり、結果の判定は紫外線照射装置を用いた目視判定が可能です。抽出から判定までを簡易な操作で、1 時間以内に結果報告をすることができることから、患者の早期発見、早期治療、更には感染拡大防止に寄与できます。

*3 LPA 法

Line Probe Assay の略。遺伝子が配列特異的に結合することを利用して、標的遺伝子の類似性（相同性）を検出する方法です。

本件に関するお問い合わせ先

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

栄研化学株式会社 広報部

TEL: 03(5846)3379 、 e-mail: koho@eiken.co.jp

ホームページ <http://www.eiken.co.jp>